

# なとり市議会だより

2021.2.1 No.173 令和2年12月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



## CONTENTS

議員が聞いたこんなこと…………… P2

電気自動車等への急速充電設備について  
火災予防上必要な対策に取り組みます………… P8

北釜地区整備の進捗と今後の見通し………… P11

N-WATCH(エヌ・ウォッチ)………… P12

# 議員が聞いた

## こんなこと

# 一般質問

### 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。12月定例会では、11人の議員から23項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



### 政策

病床数削減となり得る3病院の統合に反対すべき



小野寺 美穂

**Q** 県立がんセンターと東北労災病院、仙台赤十字病院の連携・統合について、実情をどう捉えているのか。

**A** 直近としては、10月12日、宮城県南サミットの構成首长とともに「宮城県立がんセンターと連携・統合する医療施設の名取川以南の県南地域等への立地に関する要望書」を提出した。知事からは「がんの治療に対し、高齢化等により増加する合併症への対応など、治療が高度化することを踏まえ、がんを総合的に診療できる病院が必要であり、民間の医療機関と協議を開始していく」「連携の在り方、場所等については今後の協議による」と説明があった。

**Q** 「連携・統合」議論の背景には、病床数削減と病院機能の再編を掲げた、県の地域医療構想がある。東北労災病院は地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、仙台赤十字病院は総

合周産期母子医療センター、地域医療支援病院、地域災害医療センターとして重要な役割がある。地域医療の崩壊と病床削減となり得る3病院の統合に反対すべき。

**A** がんセンター機能、または連携・統合される病院が、本市や仙台市南部及び県南地域以外の場所に移転することには明確に反対だが「がんを総合的に診療できる機能を有する病院の実現に向けた3病院の連携・統合」そのものに意思表示をする立場にはない。

### 質問した内容

- 1 ごみの最終処分場
- 2 県立がんセンター、東北労災病院、仙台赤十字病院の連携・統合

福祉

## 包括的相談支援事業に 取り組むべき



菊地 忍

令和2年6月に地域共生

社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律が公布された。この法改正により、地域生活課題を抱える地域住民及びその家族や関係者からの相談に包括的に応じ、利用可能な福祉サービスに関する情報の提供及び助言、支援関係機関との連絡調整、高齢者並びに障がい者等に対する虐待の防止及び早期発見への援助等の便宜の提供を行うため、各法の事業を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が創設された。本市でも「包括的相談支援事業」に取り組むべき。

本市ではこれまで、どの

ような相談でもしっかりと受け止めて適切な支援につながるよう努めてきた。今後は新たな包括的相談支援体制の在り方等を調査・研究したい。

三重県名張市では、子どもから高齢者の方々の保健

福祉に関する相談窓口として市内15か所に「まちの保健室」を開設している。このように地域の身近な場所に相談窓口を設置すべき。

地域という生活圏の中で相談できる場所があるという安心感が必要である。市としてどのような体制が良

いのか考えたい。

公民館に週1回の出張相談窓口を設けてはどうか。大変参考になる。人員や場所の確保等の課題があるため、解決に向け取り組みたい。

- 1 重層的支援体制整備
- 2 マイナンバー制度

質問した内容

保健

## 自死対策として相談しやすい 環境をつくるべき



波 森

本市の自死の現状をどのように捉えているか。

コロナ禍での経済的不安定な状況や、若手俳優の自殺報道の影響を注視する必要があると捉えている。

名取市自死対策計画の重点施策の進捗は。

「いのちをつなぐためのネットワークの強化」は、市の事業が生きる支援の一部を担っているという意識の下、情報共有を図り推進するよう努めている。「生きる支援に関わる人材の育成・資質の向上」は、相談支援者や新規採用職員を対象にゲートキーパー研修を行った。「子ども・若者のこころの健康づくりの推進」は、様々な悩みや困難を抱える子供や若者に対し、関係機関が連携し事例検討会や研修会等を開催している。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 名取市自死対策計画

質問した内容



学校でのSOSの出し方に関する教育の取組は。

道徳や特別活動等で、命の大切さやいじめ防止、悩

安全

### 信号機のない横断歩道での 歩行者優先の交通安全推進を



吉田 良

安全

### 植松田高線の供用開始前に 地域住民等の安全対策を



佐々木 哲男

**Q** JAFが実施する「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」で、宮城県は今年、47都道府県中最下位であった。このことをどう捉えているか。

**A** 全国平均の21・3割に対し、宮城県は5・7割と大変低い数字であったことに驚きを感じ、大変残念に思う。道路交通において歩行者優先は基本中の基本である。より一層の広報・啓発活動に努めたい。

**Q** 警察機関へ指導取締り等を要請した実績は。

**A** 取締りを要請した実績はないが、令和元年の秋の交通安全運動で警察等と連携し、信号機のない交差点での街頭指導を実施した。

**Q** 歩行者横断時の一時停止を後続車にアピールする啓発ステッカーを作成し、普及を図ってはどうか。

**A** 岩沼警察署をはじめとする関係機関とどのように連携

携が取れるか、検討したい。

**Q** 公共施設の駐車場内での歩行者優先を啓発すべき。

**A** 今後それぞれの公共施設の実情に合った形で、交通ルールの基本である歩行者優先を広く周知したい。

**Q** 令和3年度からの第11次名取市交通安全計画に、信号機のない横断歩道を横断する歩行者の安全について、具体的に盛り込むべき。

**A** 文言として明記するとはまではないが、課題の一つとして、交通安全対策会議に諮りたいと考えている。

#### 質問した内容

- 1 交通安全のための施策
- 2 約3年間にわたる水道料金誤請求の件



**Q** 県施工の都市計画道路植松田高線・小山路路改築事業の進捗状況は。

**A** 事業進捗率は約78割で、令和3年度中の開通を目指している。と聞いている。

**Q** 県道愛島名取線に接続されれば交通量の増加が見込まれる。飯野坂・植松地区の沿線住民に及ぼす影響をどう捉えているか。

**A** 交通量の増加も想定され、児童生徒を含め歩行者の安全な通行の確保と、県道と市道等交差点部の安全対策が必要になると捉えている。また、周辺市道が抜け道となり交通量の増加も想定され、踏切部の円滑な通行が妨げられる可能性がある。と捉えている。

**Q** 供用開始前に、接続により必要となる地域住民の生活道路及び児童生徒の通学路としての安全対策を、県並びに関係機関と十分協議し対策を講ずるべき。

**A** これまで県道愛島名取線の安全対策として、路側帯のカラーリング、路面標示、全線への街路灯の設置に加え、植松及び飯野坂町内会では独自の速度注意喚起の看板を設置していただいた。周辺市道も同様に、官民一体で地域の安全を図ってきたい。接続部は、県で横断歩道と信号機の設置要望を行っており、今後は、地元町内会や学校、県と共にさらなる安全対策箇所の抽出や対策を行った箇所の再検証など、供用前に安全に対する協議と対策を進める。

#### 質問した内容

- 1 ICT教育の推進と課題
- 2 都市計画道路植松田高線開通に伴う周辺への影響



業

市の予算でより多くの地場産品を学校給食に提供すべき



熊谷 克彦

Q 学校給食における地場産品の利用状況について伺う。

A 米は、100割名取産環境保全米のひとめぼれ一等米を使用し、野菜は令和元年度には、せり、チンゲン菜、小松菜、きゅうり、みょうがたけ、ねぎ、雪菜の7品目を利用して、重量ベースで10・2割に相当する量で、金額ベースで26・4割を占めている。魚介類では、笹かまぼこやさつま揚げを月に2回から3回、閑上産しらすを使用した卵巻きを年に1回提供している。豆製品では名取産大豆を使用した豆腐揚げを6月と12月に提供している。また、家庭に配布する献立表で地場産の食材について、太字にして表記している。



質問した内容

- 1 宮城県立がんセンター、東北労災病院及び仙台赤十字病院の連携、統合
- 2 農林水産業の振興

を雇用し生産活動に励んでいる方もいる。食を通して被災者や社会的弱者の方々に支援し、こうした取組を児童生徒に伝えるため、市の予算で、生産者や農協と連携し、より多くの地場産品を学校給食に提供し、周知を図るべき。

A

学校給食において、さらなる地産地消を進めるためには、規格に合った大量の農産物等を安定的に供給していたることが課題である。生産体制や供給方法について調査研究していく。

安全

自転車愛好家への配慮とさらなる交通安全対策を



齋 浩美

Q 第2次防衛ラインの開通で自転車利用者が増加している。北釜防災公園、ゆりあげ港朝市、震災メモリアル公園などの主要な場所にスポーツ自転車に対応した自転車置場を整備すべき。

A 市内観光施設等でスポーツ自転車を駐輪するためのサイクルラックの購入費を、令和3年度当初予算に計上できるよう調整している。設置場所は、北釜防災公園や震災メモリアル公園のほか、市内の公共施設や観光施設を想定している。ゆりあげ港朝市には、既にサイクルラックを1台設置しているが、もう1台を追加で設置したい。

Q 第2次防衛ラインのさらなる交通安全対策を図るべき。

A 第2次防衛ラインの交通安全対策は、附帯工事として、幹線及び主要道路交差点並びに橋梁部に道路照明灯を設置するほか、視線誘

導標等の安全施設も併せて整備し、令和2年度内に完成を予定している。

また、信号機の設置に関しては、令和2年7月に「令和3年度信号機設置要望書」を岩沼警察署に提出し、8月には地元町内会長同席で、事故多発による当該路線信号機の早期設置を要望した。

今後関係機関との協議を継続し、当該路線における交通安全施設の充実を図りたい。

質問した内容

- 1 閑上地区と北釜地区での自転車利用者の増加と総合的な交通安全対策
- 2 株式会社スプリントと関連法人の破産による財政への影響とその後の対応
- 3 激甚化する災害への備えとしての、災害廃棄物問題への取組



政策  
野外活動やキャンプができる  
場の整備に取り組むべき



大久保 主計

保健  
産後ケアに取り組むべき



菅原 和子

**Q** 高館山自然レクリエーション施設のナラ枯れ対策の推進と野外炊事施設の復旧を図り安心して憩える場の再生を図るべき。

**A** ナラ枯れ対策は、市民生活への影響が特に大きい箇所から伐倒駆除を行っており被害状況を見て検討する。また、野外炊事施設のかまどについては、地権者の代表や周辺住民の方々の意見を伺い、対応を進める。

**Q** 樽水ダムB地区公園について、キャンプができるよう整備し、トイレを改修するなど気持ちよく憩える場を増やすべき。

**A** 公園設置者である宮城県と協議して進めることにならるが、ダムの水質への影響、財源確保などを考慮すると難しい状況であると考えられる。

**Q** 第六次長期総合計画にある「自然とふれあえる場と機会の提供」の事業は、しっかりと実施計画に落とし込み、予算化してほしい。

**A** 第六次長期総合計画にある「自然とふれあえる場と機会の提供」の事業は、しっかりと実施計画に落とし込み、予算化してほしい。

**Q** 第六次長期総合計画にある「自然とふれあえる場と機会の提供」の事業は、しっかりと実施計画に落とし込み、予算化してほしい。

**A** 第六次長期総合計画にある「自然とふれあえる場と機会の提供」の事業は、しっかりと実施計画に落とし込み、予算化してほしい。



- 質問した内容
- 1 自然とふれあえる場と機会の提供
  - 2 鳥獣被害対策

**A** これまでは市民に対し観察や体験の受け手としての参加を募る取組を中心としていた。今後は積極的に参加する機会として市民協働で取り組む事業を企画、実施していきたい。

**Q** 出産後は、ホルモンバランスの変化や育児に対する不安、ストレスなどから、精神的に不安定になりやすい状況にある。厚生労働省の妊娠中及び産後1年未満に死亡した女性についての調査では、妊産婦の死因は自殺が最も多く、中でも出産後に自殺した割合が高い。自殺に至る大きな要因は「産後うつ」が考えられる。症状が悪化すると、子どもに危害を加える恐れもあることから、早期発見が重要である。産後うつへの予防や新生児への虐待防止等を図るため、産婦健康診査事業である産後2週間、1か月健康診査に助成金を支給すべき。

**A** 母体の身体的機能回復、授乳状況及び精神状況をできるだけ早期に把握し、支援したい。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備し、安心して子育てできるよう実施に

**Q** 令和元年12月6日「母子保健法の一部を改正する法律」が公布された。改正の趣旨は、母親の身体的回復や心理的な安定を促進するため産後ケア事業の展開を図ることである。本市において、短期入所事業や通所事業に取り組むべき。

**A** 実施している市町があることから、情報収集を重ね、市民の利便性や子育ての安心感につながるよう取組について考えていく。

**Q** 産後ケアの取組

**A** 産後ケアの取組

**Q** 産後ケアの取組

**A** 産後ケアの取組



- 質問した内容
- 1 産後ケアの取組
  - 2 幼児の目の異常の早期発見
  - 3 保育所の事故防止

防災

## 避難所運営における防災体制を強化すべき



大友 康信

**Q** 第二中学校で開催された総合防災学習講演会について、どのように評価されているか。

**A** 各専門家の方や震災を体験した方を講師に招くことで、生徒がより深く防災について学ぶことができたと同っている。被災した本市にとって意義のある取組だと評価している。

**Q** 住民主導の避難所運営の中で、中学生が地域の一員として活躍できることを体験する学習内容がとてもしばりしなかった。市内の全ての小中義務教育学校で総合防災学習講演会を開催すべき。

**A** 現在、各校の防災教育の具体的な取組は、学校の考えや地域の特性を生かしながら行っているため、全ての学校で一律に同様の総合防災学習講演会の実施を指導する考えは持っていない。

しかし、第二中学校の取組は多くの成果があったと捉えているため、他校に紹介し、取り入れられる面は自校の防災教育に取り入れられるような働きかけは行っていくという考えはある。

質問した内容  
1 避難所運営における防災体制の強化



政策

## 空き家等対策計画策定、協議会の設立、空き家バンク設置を



菊地 昌夫

**Q** 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく空き家等対策計画の策定と、空き家等対策協議会を設立すべき。

**A** 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく空き家等対策計画は、令和3年度に空き家等対策協議会を設置した上で策定に取り組みたいと考えており、現在、準備を進めている。

**Q** 県内14市の空き家対策の取組を見ると、空き家等対策計画や空き家等対策協議会、空き家の登録や紹介制度である空き家バンクのいずれも策定等がなされていないのは本市のみである。空き家バンクや空き家活用のための相談窓口開設は、所有者と不動産業者・宅地建物取引業者との連携により、比較的实施しやすく、直接的な効果が期待できる施策と考えられるため、空き家バンク制度を創設すべき。

**A** 第六次長期総合計画にも掲げているとおり、空き家の利活用促進は本市における空き家対策推進に係る施策内容の一つとなっている。空き家バンク制度は、空き家の利活用促進の手段として有効なものと捉えており、令和3年度に空き家等対策計画を策定する中で、協議会の委員の意見を伺い、協力を得ながら、制度の創設に向け検討していきたいと考えている。

質問した内容  
1 空き家対策  
2 復興事業を終えたとされる閑上地区のまちの在り方と支援

# 12月定例会 議案審議

## 名取市の

## こんなことが決まりました

12月定例会 会期 12月2日～14日

### 12月定例会の議案は

#### 市長提出議案

条例……………7件

補正予算……………9件

議決案……………8件

#### 議員提出議案

意見書……………2件

計26件

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をご覧ください。



〔議案第102号〕 名取市火災予防条例の一部を改正する条例

### Pick up 1

電気自動車等への急速充電設備について火災予防上必要な対策に取り組みます

国の省令改正により、電気自動車等への急速充電設備について、出力上限が50ワットから200ワットまで拡大するなど、構造や設置、管理に関する基準が整理されたため、必要な改正を行うものです。

こんな質疑がありました

**Q** 改正後の急速充電設備の対象数と市の対応は。

**A** 急速充電設備は、自動車ディーラーやイオンモール名取など本市内に7か所確認している。今後は出力が50ワットを超える急速充電設備を設置する場合、市に届出が必要となり明確に数を把握できる。

**Q** 電気火災に対応する資機材などの準備状況は。

**A** 電気火災等に対応する資機材として、耐電服や耐電

長靴などを所有し消防車両へ積載している。また、耐電装備を装着しての消火訓練も行っている。

**Q** 具体的な消火方法は。

**A** 電気自動車等による火災は、発災初期には、粉末消火器の使用が有効である。粉末消火器で消火できない場合は、多量の水で消火する。電気火災発災時は、隊員及び周辺住民等の感電事故防止を最優先に活動する。



## Pick up 2

### 閑上魚市場を宮城県漁業協同組合 に無償譲渡します

こんな質疑がありました

#### 譲渡の手續等について

Q 仮設として建てられた施設だが、本設として使用する法的な手續は。

A 無償譲渡に当たり、建築基準法に基づく一般建築物として報告手續を行った。

AQ 建物の構造は変わるのか。引渡しに当たり既設の基礎部分の補強工事を行う。



#### 施設の維持管理について

Q 今後はどのように施設を管理するのか。

A 所有者となる宮城県漁業協同組合が維持管理する。

Q ろ過海水供給施設の取扱いは。

A 市の事業として設置した、ろ過海水供給施設は従来どおり市の管理財産となり、市が引き続き維持費を負担する。

## Pick up 3

### 新型コロナウイルスの感染拡大等 に伴い、事務事業の精査を行いました

こんな質疑がありました

#### 名取中央スマートIC 関連調査委託料について

AQ 減額の理由は。利用促進と誤進入対策の整備効果の検証業務について請負差金を減額するためである。

AQ 誤進入の件数は。1日あたり25台の誤進入があると聞いている。

#### 消費費について

Q 消防団運営事業で年に一度の操法指導会が中止になったが、技術向上への影響は。

A 中止となった指導会に代わり、各分団で技術向上の訓練を行うよう依頼している。

Q 指導救命士養成講習中止による影響と対応は。

A 救命士養成を優先させるとの判断により、令和3年度も研修が中止となっている。令和4年度に研修を受講し指導救命士養成に努める。

審議結果

▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名（議席番号順）																				
					菊地昌夫	熊谷克彦	笹森波	千葉栄幸	板橋美保	大泉徳子	大久保主計	齋浩美	菅原和子	吉田良	荒川洋平	大友康信	佐々木哲男	及川秀一	菊地忍	小野寺美穂	郷内良治	丹野政喜	山田龍太郎	佐藤正博	
第9回定例会	議員	議案第7号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をごらんください。



No.1

12月定例会では、6件の陳情が提出されました

陳情

◆上余田1号幹線の水路整備についての陳情

（上余田南区長 大友 茂氏ほか5名）

◆市道袖山線の改良整備に関する陳情

（北目柳沢契約会 会長 布田 博氏）

◆市道田高沢目線の全面改修整備と県道としての維持管理を求める陳情

（田高第二町内会 会長兼区長 高橋 道生氏ほか1名）

◆鹿島草倉田線の道路拡幅の早期着工・完成に関する陳情

◆山神線及び成田線の道路拡幅に関する陳情

◆飯塚成田線の早期完成に関する陳情

（下余田町内会 会長 齋藤 博氏ほか1名）

No.2

総務消防常任委員会の構成が変更になりました

総務消防常任委員会の委員長及び副委員長の辞任に伴い、委員長及び副委員長の選挙を行い、次のとおり委員会の構成が変更となりましたので、お知らせします。

○総務消防常任委員会

委員長 吉田 良

副委員長 熊谷 克彦

（12月4日辞任）

委員長 菊地 忍

副委員長 板橋 美保

（12月4日選任）

No.3

議員協議会（11月10日）  
北釜地区防集移転元地等整備事業について

北釜地区の防災集団移転元地は、市の第六次長期総合計画等に基づき、企業誘致の受皿として整備事業が進められており、その進捗状況及び今後の見通しについて説明がありました。

先行エリア約4・8畝は総合建設業者の進出が決定しており、後発エリア約8・3畝についても既に進出事業者を募集し、全エリアに申込みがあると示されました。

市では応募事業者からの提案を経済波及効果や市への地域貢献などの面から審査し、臨空拠点としての地区整備に資するよう協議を進めていきたい考えであることが示されました。

No.4

令和2年第8回臨時会（11月20日）  
議案第94号 財産の取得について

国が推進するGIGAスクール構想により、授業での教材提示等に活用することを目的とした液晶テレビ及び移動式単焦点プロジェクターの購入契約について審議し、全会一致で可決しました。

液晶テレビ等は令和3年3月中旬までに市内小中義務教育学校の普通教室に設置予定であり、併せて、令和2年12月までに導入されるタブレット端末の活用に関する教職員向けの研修会を開催する考えであることが示されました。

No.5

議員協議会（11月20日）  
下増田公民館と下増田児童センターを合築のうえ移転改築することについて

施設が狭隘で老朽化が進む下増田公民館と下増田児童センターとを、合築による複合施設として新たに整備する考えが示されました。

新施設は下増田小学校の校庭の一部と校庭西側の美田園第三仮設住宅跡地を使用し、鉄筋コンクリート造2階建てで建設することを想定しています。

令和2年度中に地元の方との懇話会を立ち上げ地域の意見を聴きながら、整備内容の検討・計画を行い、令和3、4年度に設計・整備を実施し、令和5年5月に開館することを目標とすると説明がありました。

No.6

議員協議会（12月1日）  
名取市国土強靱化地域計画(案)について

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする名取市国土強靱化地域計画(案)について説明がありました。

この計画は、大規模自然災害等の発生を想定し、必要な事前防災・減災その他の迅速な復旧復興に資する施策を総合的・計画的に実施するため、国・県の計画と整合を図りながら、強靱な地域づくりに向けて平時から持続的に取組を展開するための指針であり、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ策定する考えが示されました。

# N WATCH

エヌ・ウォッチ

今号の表紙を飾ってくれた、**ますだ総合スポーツクラブ**の皆さんからお話を伺いました。



理事長 庄司 昇 さん(右)  
副理事長 紺野 一男 さん(左)

## 総合型地域クラブ設立への想いを教えてください

これまでの各年代のサッカーチームでの活動を基礎に、幅広い年代の方々の生涯スポーツへのニーズに応じて、地域の人々の健康維持・増進に貢献したいという想いからです。

## 設立後の活動実績は

サッカー以外では、ゴルフサークル、トレッキング、小学生以下のフットサル教室です。

## これからの活動予定は

既存スポーツはもとより、囲碁、将棋、健康麻雀等の文化的活動の種目も増やし、試みとしてスポーツ婚活等も企画したいです。

令和3年2月定例会は、  
**2月19日(金)**  
開会予定です。

## 議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでもごらんいただけます。



## 議会を傍聴しよう

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のご協力を頂いております。詳しくは、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。



## 会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひご利用ください。



## 議会を動画で見よう

本会議の様様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひご利用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



## 議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

## 編集後記

委員  
及川 秀一

今回の定例会では、軽減世帯を拡大する国民健康保険税条例の一部改正や道路占用料条例の一部改正、電気自動車の急速充電設備に対応する火災予防条例の一部改正などの審議を行いました。

旧暦では立春が1年の始まりです。そのため、立春の前日を「季節を分ける日」という意味で節分といい、豆まきで1年の

けがはら 穢れを祓い清める風習が生まれました。邪気を祓うとされる豆まきに無病息災の願いを込めてみてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルスは誰もが罹患する感染症です。一人一人が憶測やデマに惑わされず、正しい情報で感染対策を徹底するなど注意しながら冷静に行動していきましょう。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

